

整理番号 00770

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等） **Platinum Silica Catalyst**

プラチナ シリカ キャタリスト

### 販売者情報

会社 **LECO ジャパン合同会社**

住所 〒105-0014

東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号

住友不動産芝ビル 4 号館

担当 **SDS 担当者**電話番号 **(03) 6891-5800** FAX 番号 **(03) 6891-5801**

### 製造者情報

会社 **LECO Corporation**住所 **3000 Lakeview****St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.**

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

健康に対する有害性 : 呼吸器感作性 区分 1

### ラベル要素

絵表示 :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 吸引するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ

### 注意書き

安全対策 : 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸引をしないこと。呼吸用保護具を着用すること。

応急措置 : 呼吸に関する症状が出た場合は医師に連絡すること。吸引した場合、空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させること。

保管 : 混触危険物との接触を避けること。

廃棄 : 内容物、容器の廃棄は国、地方自治体、国際規則に従って行うこと。

プラチナシリカキャタリスト P/N: 501-587

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物	
化学名	シリカゲル	白金
成分及び含有量(wt%)	75.0 - 100	0.9-1.1
化学式又は構造式	$\text{SiO}_2 \cdot x\text{H}_2\text{O}$	Pt
官報公示整理番号		
化審法	1-548	
安衛法	非通知対象物質	通知対象物 437
PRTR 法	対象外	対象外
C A S No.	63231-67-4	7440-06-4
国連分類及び国連番号	該当しない	該当しない(本品は金属粉末ではない)

### 4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動させる。必要な場合、酸素または人工呼吸器を使用する。症状がひどくなる/長引く場合医師に相談する。
皮膚に付着した場合	水と石鹸で洗い流す。刺激がひどくなる/続く場合には医療アドバイスを受ける。
目に入った場合	すぐに多量の水で洗い流し、15分以上続ける。刺激がひどくなる/続く場合には医療アドバイスを受ける。
飲み込んだ場合	口をよくすすぐ。症状が出る場合は医療アドバイスを受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	入手不可
医師に対する特別な注意事項	対症療法を施す。
その他の情報	医療スタッフが物質についての知識があること、スタッフの保護措置にも気を付けさせる。

### 5. 火災時の措置

消火剤	周辺火災に応じた消火方法をとる。
使ってはならない消火剤	入手不可
火災時の特有の危険有害性	入手不可
特有の消火方法	入手不可
消火を行う者の保護	自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。

## 6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外を退避させる。掃中は適切な保護衣を着用すること。ダストを吸入しない。十分な換気を行う。
環境に対する注意事項	排水、水路または地面への流出を防ぐ
封じ込め及び浄化の方法及び機材	ダストの発生、蓄積を最小限にする。漏出物を掃き集めるか掃除機で集め、適切な廃棄容器に入れる。ここまで

## 7.取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項	ダストが発生する場所には適切な換気を設ける。ダストの発生、蓄積を最小限にする。ダスト/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しない。眼、皮膚、衣類への接触を防ぐ。長時間暴露しないようにする。適切な保護具を着用する。産業衛生に気を配る。
安全な保管条件	可燃物のそばに置かない。容器を密閉して乾燥し、涼しく換気の良い場所に保管する。混触危険物に近づけない（第10項を参照）。

## 8.暴露防止及び保護措置

許容濃度(暴露限界値)

US. OSHA TableZ-3 (29 CFR 1910.1000)

成分	タイプ	値
シリカゲル (CAS 63231-67-4)	TWA	0.8 mg/m <sup>3</sup> 20 mppcf

US. ACGIH Threshold Limit Values

成分	タイプ	値
プラチナ (CAS 7440-06-4)	TWA	1 mg/m <sup>3</sup>

US. NIOSH: Pocket Guide to Chemical Hazards

成分	タイプ	値
プラチナ (CAS 7440-06-4)	TWA	1 mg/m <sup>3</sup>
シリカゲル (CAS 63231-67-4)	TWA	6 mg/m <sup>3</sup>

生物学的限界値 生物学的暴露限界値は設定されていない。

設備対策 十分な全体、局所換気を行う。

保護具

眼/顔の保護 サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。

皮膚の保護

手 適切な耐薬品グローブを着用する。

その他 適切な耐薬品保護衣を着用する。

呼吸器の保護	換気が十分でない場合、認証済みの呼吸器を使用する。
熱的危険	必要な場合熱保護衣を着用する。
一般的な衛生事項	常に手洗いなど衛生に気を配る。仕事着、保護具類は定期的に洗濯、清掃する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	
	形状 固体・粒状
	色 黒色
臭い	なし
融点・凝固点	入手不可
沸点又は初留点及び沸騰範囲	入手不可
可燃性	入手不可
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	入手不可
引火点	入手不可
自然発火点	入手不可
分解温度	入手不可
pH	入手不可
動粘性率	入手不可
溶解度	不溶
n オクタノール/水分配係数	入手不可
蒸気圧	入手不可
密度及び／又は相対密度	入手不可
相対ガス密度	入手不可
粒子特性	入手不可

## 10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は通常の条件の使用、保管、輸送において安定で非反応性
化学的安定度	通常の状態安定
危険有害反応可能性	アルコール（メタノール、エタノール）と激しく反応し可燃性ガスを発生する。
避けるべき条件	混触危険物質との接触を防ぐ。ダストが発生するような条件を避ける。
混触危険物質	酸、酸化剤。
有害な分解生成物	金属酸化物

## 11. 有害性情報

## 起こりうる暴露についての情報

吸入	ダストの吸入により呼吸器に刺激が起こる場合がある。
皮膚	皮膚に刺激を起こすおそれ。アレルギー皮膚症状を起こすおそれ。
眼	眼にダストが入ると刺激をおこす。
飲み込んだ場合	入手不可
物理的、化学的、有害性特性に関連した症状	入手不可
毒物学的影響	
急性毒性	区分に該当しない
成分	

## シリカゲル (CAS 63231-67-4)

急性

経口

LD50

ラット

&gt;22500 mg/kg

\*製品への評価にはデータとして記載されていない成分が含まれている場合があります。

皮膚の腐食性/刺激性	入手不可
重篤な眼の損傷性/眼刺激性	入手不可
呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	吸引するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ
皮膚感作性	入手不可
生殖細胞変異原性	入手不可
発がん性	
IARC Monographs. Overall Evaluation of Carcinogenicity	シリカゲル (CAS 63231-67-4) 3 ヒトへの発がん性があると分類できない
OSHA 特定規制物質 (29CFR 1910.1001-1050)	記載なし
生殖毒性	本製品は生殖または発達に悪影響を起こすとは考えられていない。
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	入手不可
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	入手不可
誤えん有害性	入手不可

## 12. 環境影響情報

生態毒性	本製品は環境有害性があると分類されていない。
残留性/分解性	知られていない。
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	入手不可
その他の有害影響	この製品による環境への悪影響（例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は考えられていない。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄手順	内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。
残余廃棄物/未使用製品	地域の規制に従う。空容器には製品が残っている場合がある。当該製品とその容器は安全に廃棄されなければならない。
汚染容器	空容器の再利用/廃棄には認証を受けた廃棄処理場に持ち込まなければならない。

## 14. 輸送上の注意

DOT,IATA,IMDG において危険品として規制されていない。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法：施行令第18条の2 別表第9(名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物)  
437 白金

## 16. その他の情報

参考文献	本製品の英文 SDS(041521) : LECO Corporation
	JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法
	JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示および安全データシート
	化学便覧 : 丸善
	職場のあんぜんサイト : 厚生労働省
	NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構

作成：平成13年6月1日

改訂：平成21年10月13日（書式改訂、法令見直し）

平成22年4月27日（法令見直し）

平成23年7月11日（住所変更）

平成28年4月12日（書式変更、英文SDS改訂）

平成28年5月18日（法令見直し）

令和4年3月3日（法令見直し、2019年版JIS対応）

- \* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。
- 尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。